

育児中の医師への支援状況についてのアンケート調査 報告書

令和7年8月

山形県健康福祉部・山形県医師会

○調査の概要

- ・ **調査目的**

本調査は、育児と仕事の両立を目指す医師に対する支援策を充実させ、医療現場で安心して継続勤務できる環境の整備に向けた基礎資料とすることを目的としている。

- ・ **調査の背景**

近年、医師の働き方改革が進む中で、特に育児期にある医師の離職・キャリア中断のリスクが課題となっている。医療の持続可能性を確保する観点からも、育児中の医師への支援体制の整備は喫緊の課題であると考えられる。

- ・ **調査対象**

山形県内の病院（66 病院）

- ・ **調査方法**

Google フォームによる Web アンケート調査

- ・ **調査期間**

令和 7 年 5 月 2 7 日～ 6 月 3 0 日

- ・ **調査時点**

令和 7 年 4 月末時点の状況に基づいて実施

- ・ **回答病院数**

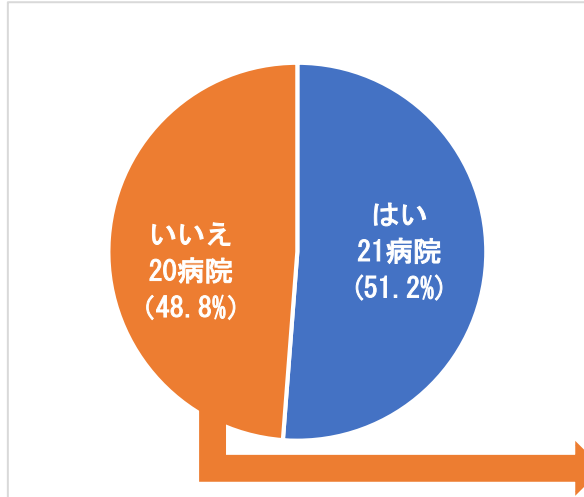
6 6 病院中 6 5 病院から回答（回答率 98. 5%）※有効回答は 41 病院
そのうち、3 1 病院については育児中の医師（中学生以下の子を持つ医師）の該当がなかった。

育児中の医師への支援状況についてのアンケート調査の結果について

《質問 1》 院内保育施設に関する状況についてお伺いします

1-1 貴院では「院内保育施設」を設置していますか。(N=41)

(1) はい (21 病院) (2) いいえ (20 病院)



「いいえ」の場合

1-9 将来的な設置予定はありますか。
(N=20)

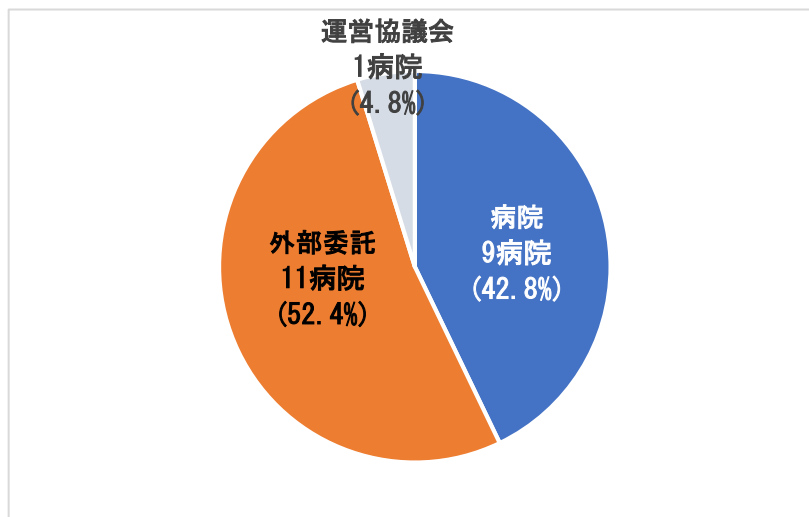
- (1) はい (0 病院)
- (2) 検討中 (0 病院)
- (3) なし (20 病院)

[備考]

- ・令和 5 年まで設置していたが、利用者が少なく休止中
- ・提携保育園を利用

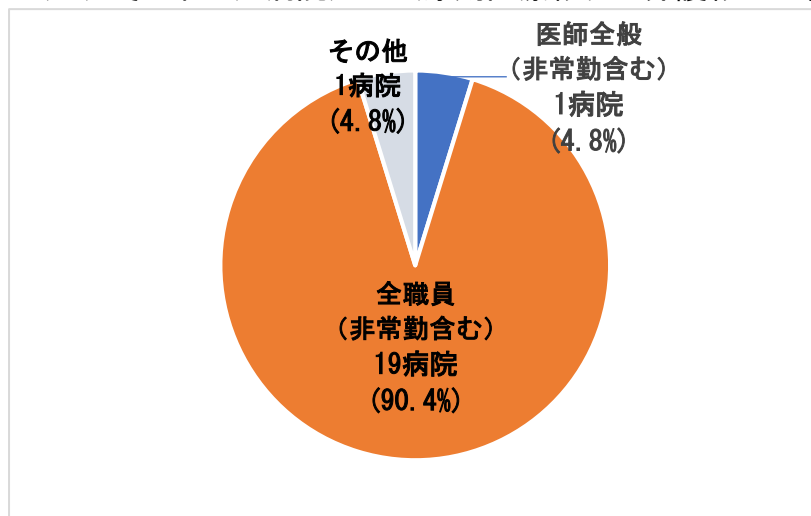
↓ 「はい」 の場合

1-2 保育施設の運営母体をご記入ください (例：病院、外部委託など) (N=21)



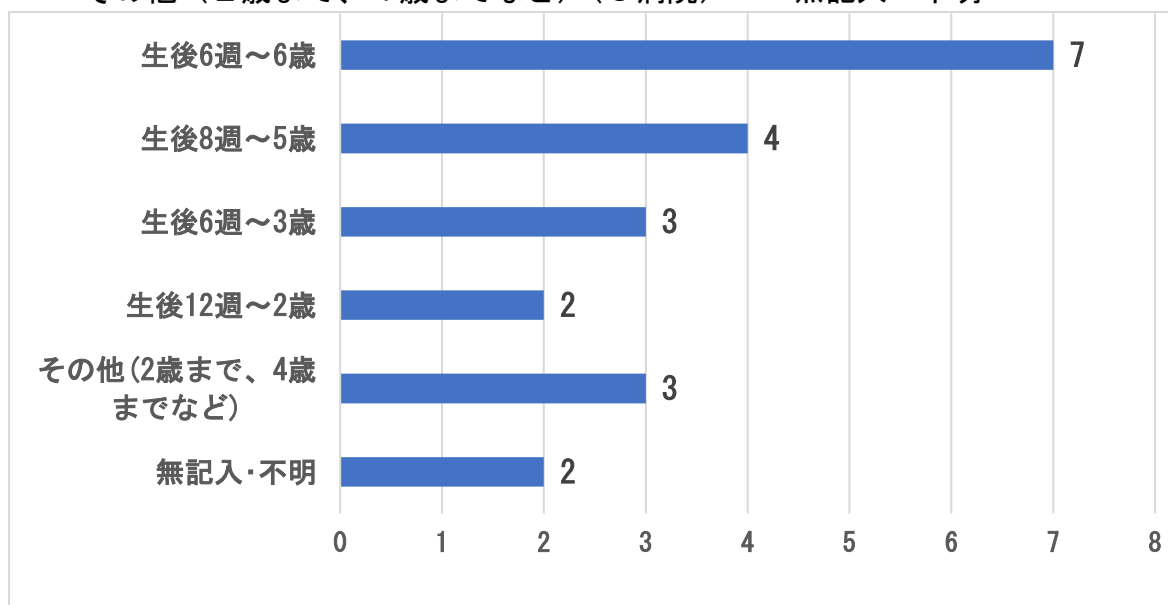
1-3 対象者をお選びください (N=21)

- (1) 医師全般 (非常勤含む) (1 病院) (2) 全職員 (非常勤含む) (19 病院)
(3) 医師のみ (常勤のみ) (0 病院)
(4) その他 (1 病院) → (原則医療職及び介護職の正職員)



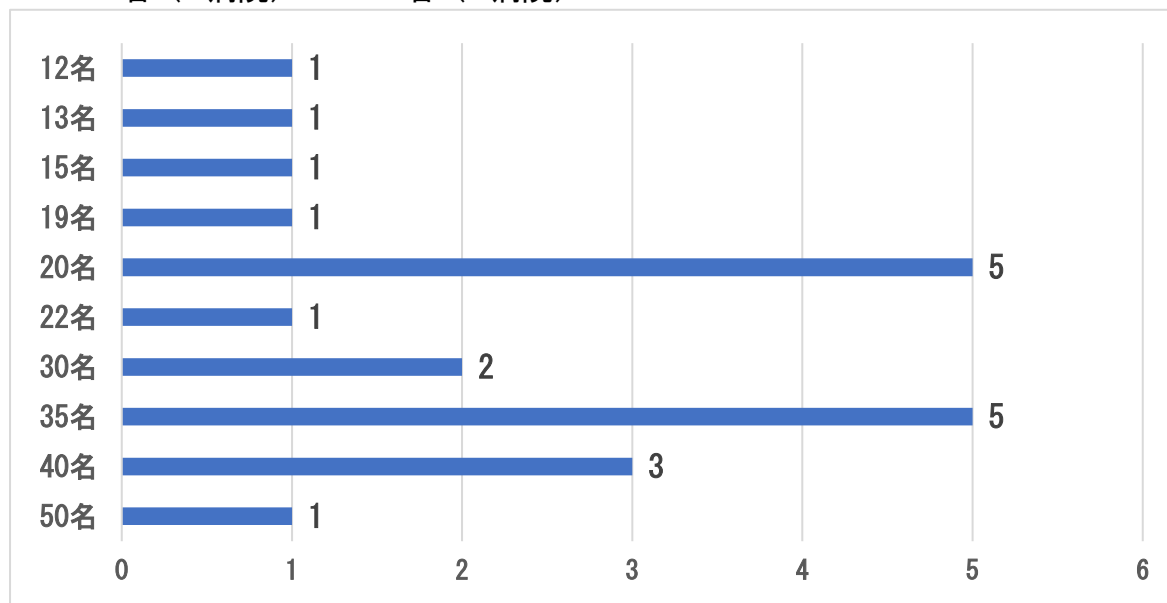
1-4 対象年齢をご記入ください (N=21)

- ・ 生後6週～6歳 (7 病院) ・ 生後8週～5歳 (4 病院)
・ 生後6週～3歳 (3 病院) ・ 生後12週～2歳 (2 歳)
・ その他 (2歳まで、4歳までなど) (3 病院) ・ 無記入・不明



1-5 定員をご記入ください (N=21)

- ・ 12名 (1 病院) ・ 13名 (1 病院) ・ 15名 (1 病院) ・ 19名 (1 病院)
- ・ 20名 (5 病院) ・ 22名 (1 病院) ・ 30名 (2 病院) ・ 35名 (5 病院)
- ・ 40名 (3 病院) ・ 50名 (1 病院)



1-6 保育時間をご記入ください (N=21)

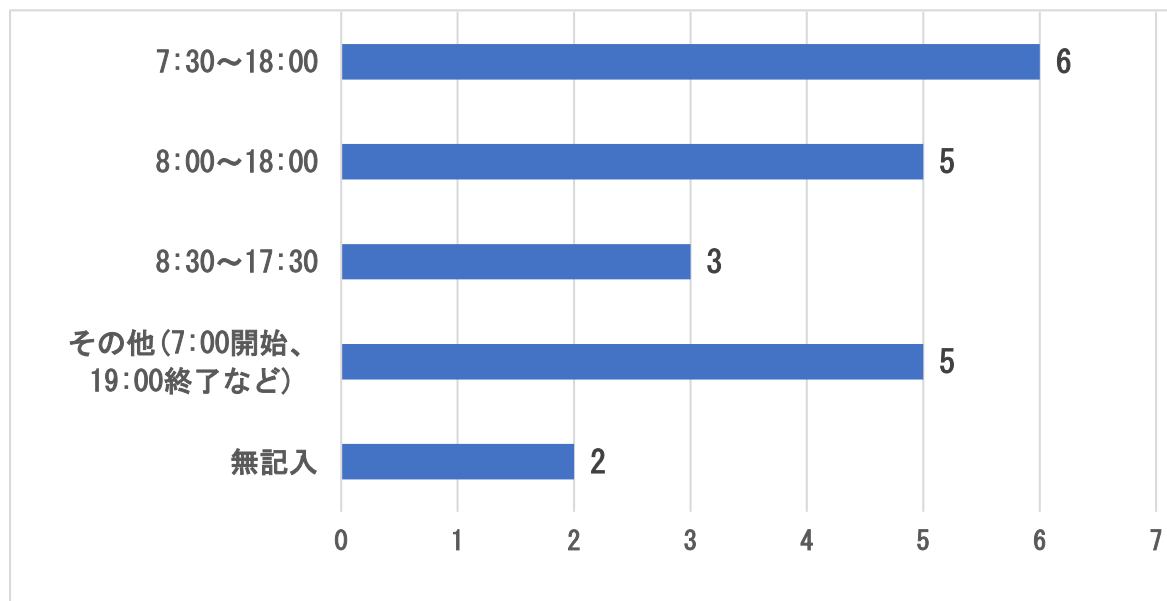
【平日】

- ・ 7:30~18:00 (6 病院) ・ 8:00~18:00 (5 病院) ・ 8:30~17:30 (3 病院)
- ・ その他(7:00 開始、19:00 終了など) (5 病院) ・ 無記入 (2 病院)

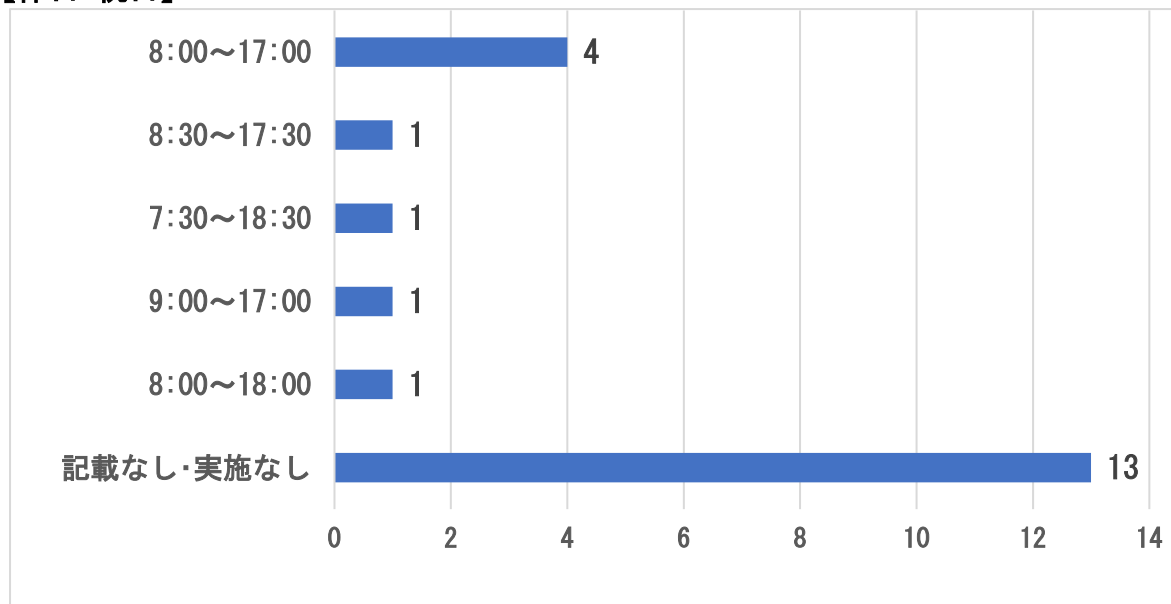
【休日・祝日】

- ・ 8:00~17:00 (4 病院) ・ 8:30~17:30 (1 病院) ・ 7:30~18:30 (1 病院)
- ・ 9:00~17:00 (1 病院) ・ 8:00~18:00 (1 病院)
- ・ 記載なし・実施なし (13 病院)

【平日】



【休日・祝日】



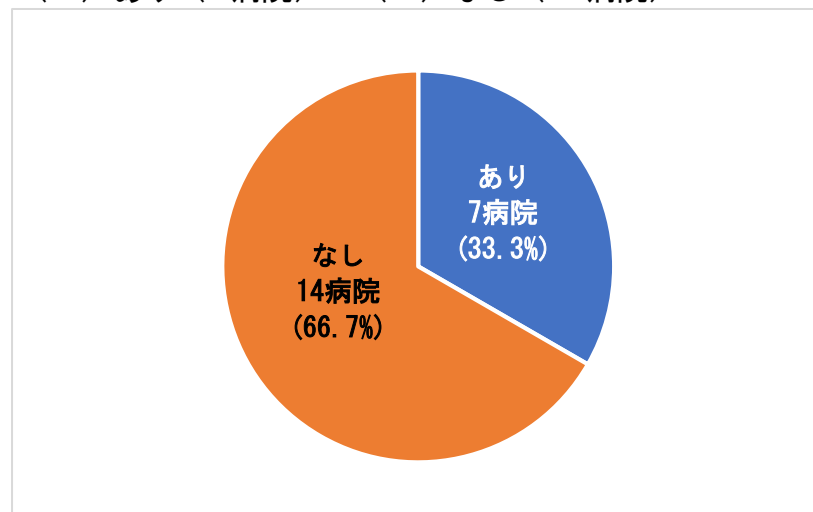
1－7 一時保育はございますか (N=21)

(1) あり (21 病院) (2) なし (0 病院)



1－8 病児・病後児保育はございますか (N=21)

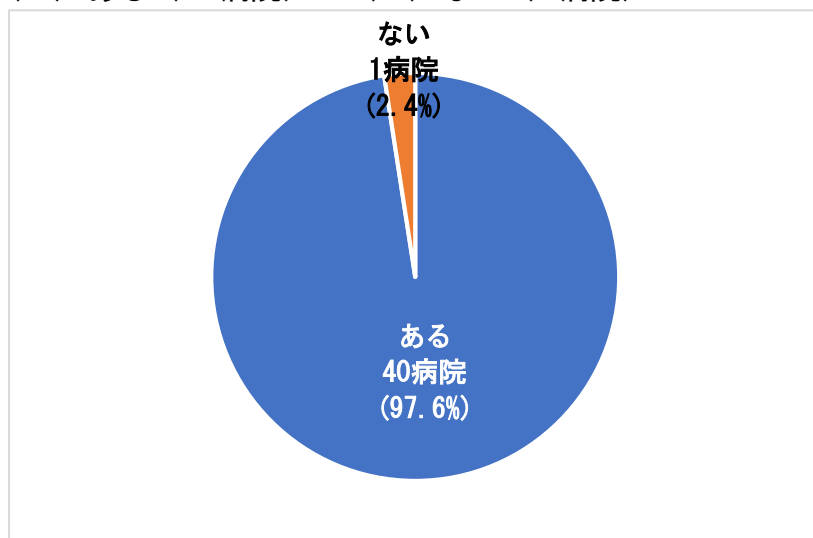
(1) あり (7 病院) (2) なし (14 病院)



《質問2》 育児中の勤務医（男女問わず）への勤務支援制度についてお伺いします

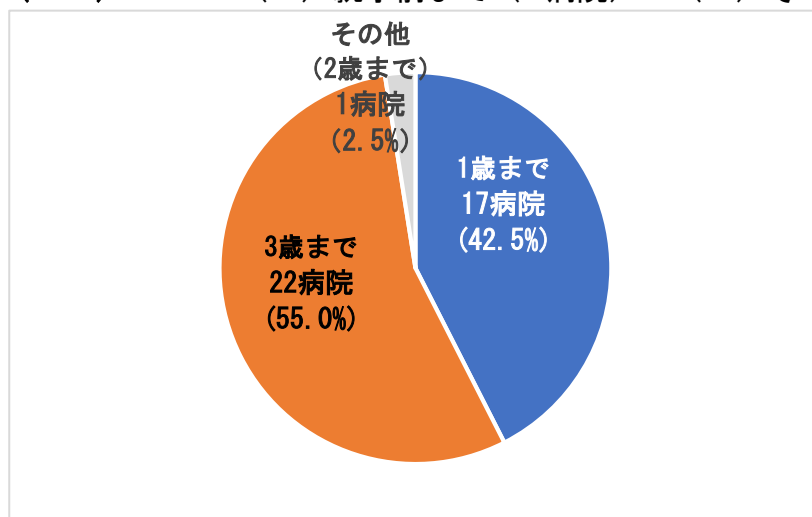
2-1 育児休業制度はありますか。(N=41)

(1) ある (40 病院) (2) ない (1 病院)



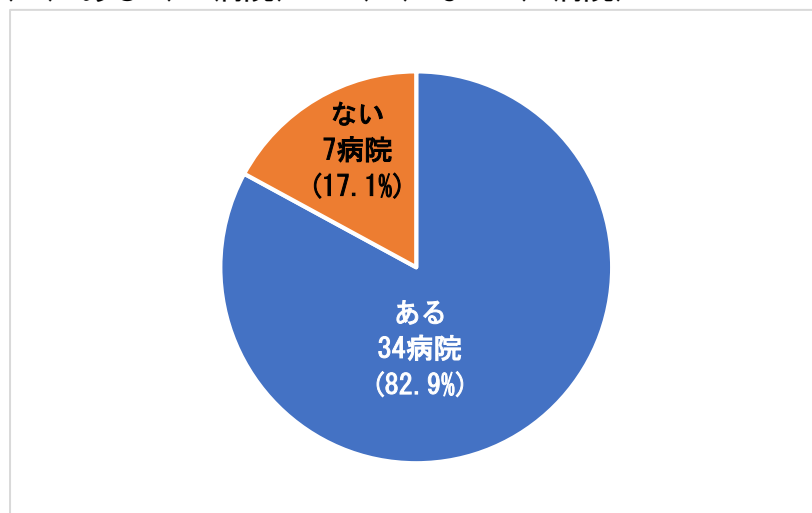
↓「ある」の場合

育休可能期間 (1) 子が1歳まで (17 病院) (2) 3歳まで (22 病院)
(N=40) (3) 就学前まで (0 病院) (4) その他 (1 病院) → (2歳まで)



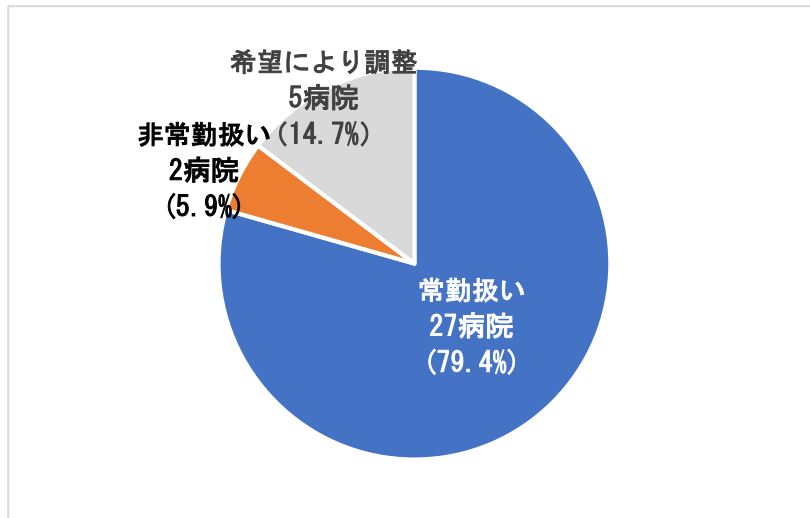
2-2 育児中の医師への短時間勤務制度はありますか (N=41)

(1) ある (34 病院) (2) ない (7 病院)



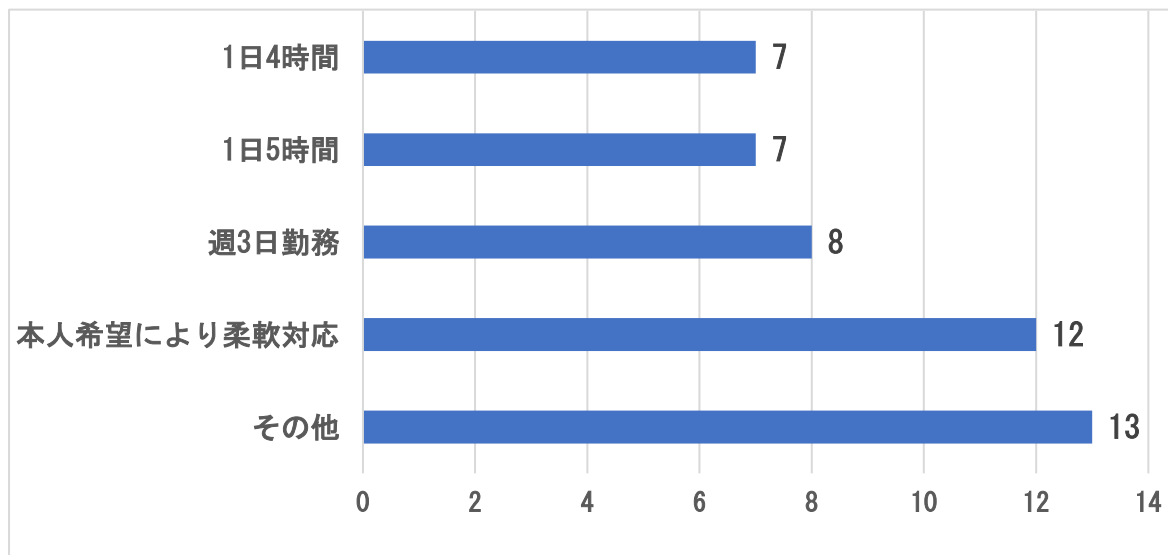
↓「ある」の場合 (N=34)

ア 勤務形態：(1) 常勤扱い (27 病院) (2) 非常勤扱い (2 病院)
(3) 希望により調整 (5 病院) (4) その他 (0 病院)



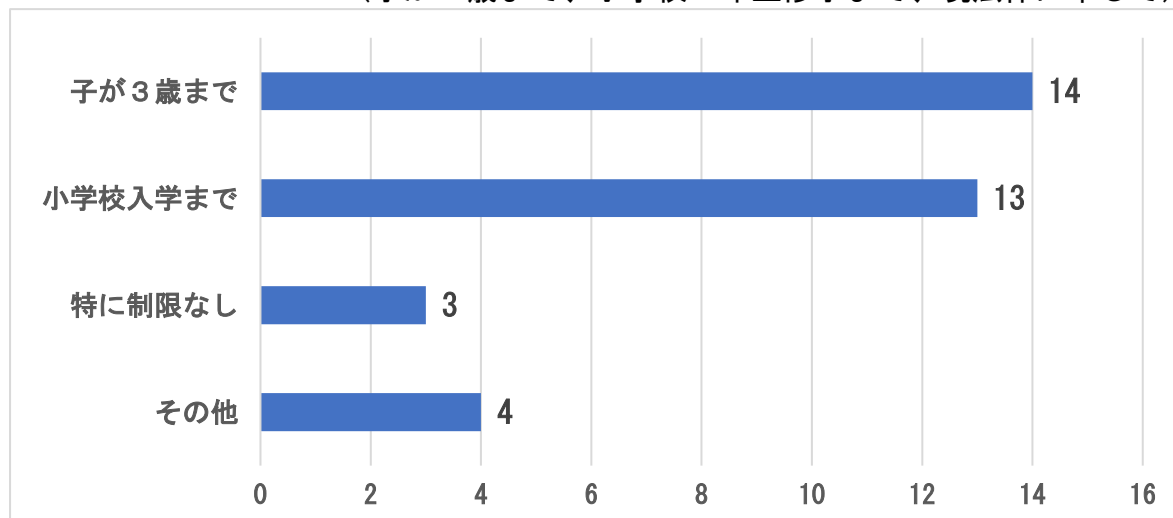
イ 時間例：(複数回答可) (1) 1日4時間 (7 病院) (2) 1日5時間 (7 病院)
(3) 週3日勤務 (8 病院)
(4) 本人希望により柔軟対応 (12 病院)
(5) その他 (13 病院)

- ・ 1日1時間
- ・ 1日2時間
- ・ 1日6時間／6時間30分
- ・ 1日7時間、6時間半、6時間
- ・ 週2日＋1日4時間 (週19時間25分)
- ・ 週2.5日勤務
- ・ 週4勤務
- ・ 育児短時間勤務 (週5日3時間55分、4時間55分 など)
- ・ 1日3時間55分、1日4時間35分、1日4時間55分
- ・ 4週間ごとの変則勤務
(週休日8日以上、週19時間25分～24時間35分の範囲)
- ・ 所定労働時間を6時間に変更
- ・ 週平均20時間を下回らない範囲で柔軟対応



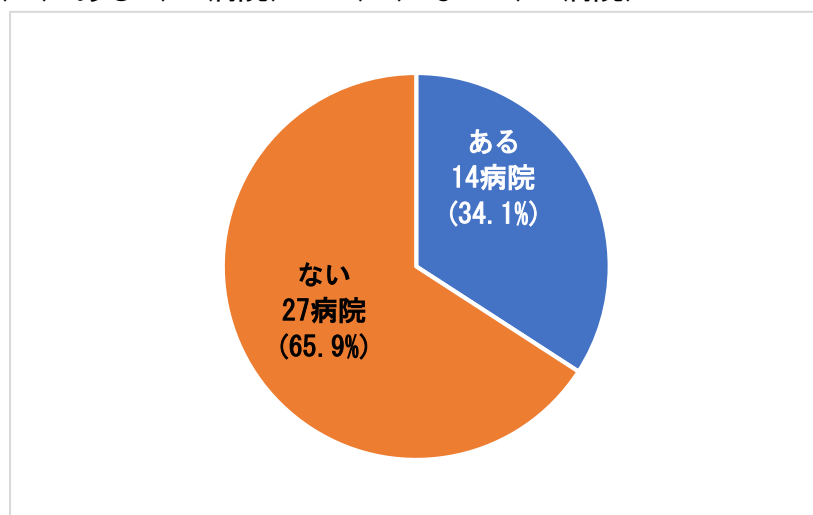
- ウ 適用期間：（１）子が３歳まで（１４病院） （２）小学校入学まで（１３病院）
 （Ｎ＝３４） （３）特に制限なし（３病院）
 （４）その他（４病院）

↳（子が１歳まで、小学校３年生修了まで、現法律に準じて）



2-3 フレックスタイム・時差出勤制度はありますか（N=41）

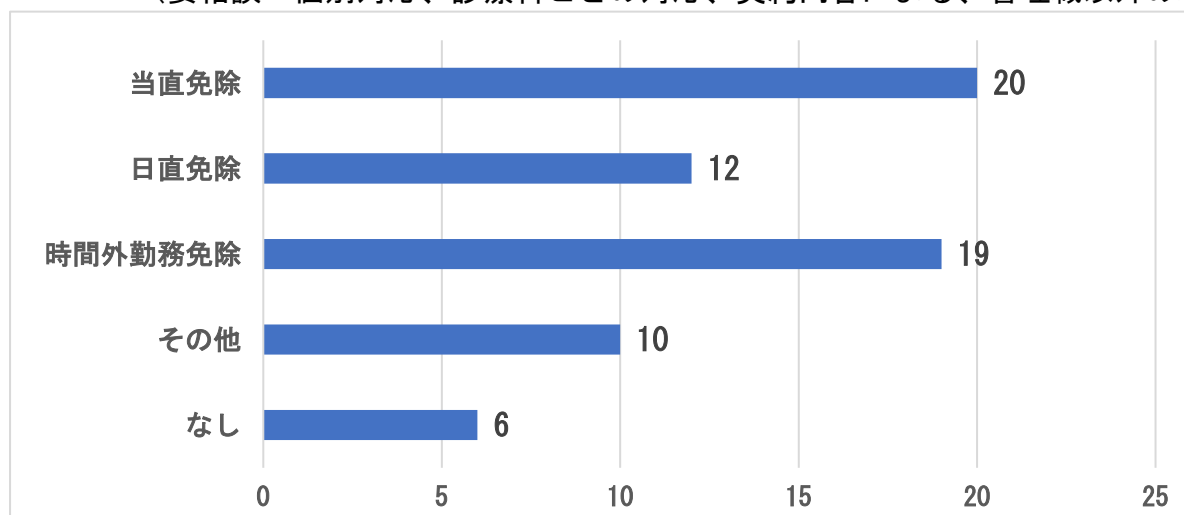
- （１）ある（１４病院） （２）ない（２７病院）



2-4 当直・日直・時間外勤務の免除制度はありますか（複数回答可）

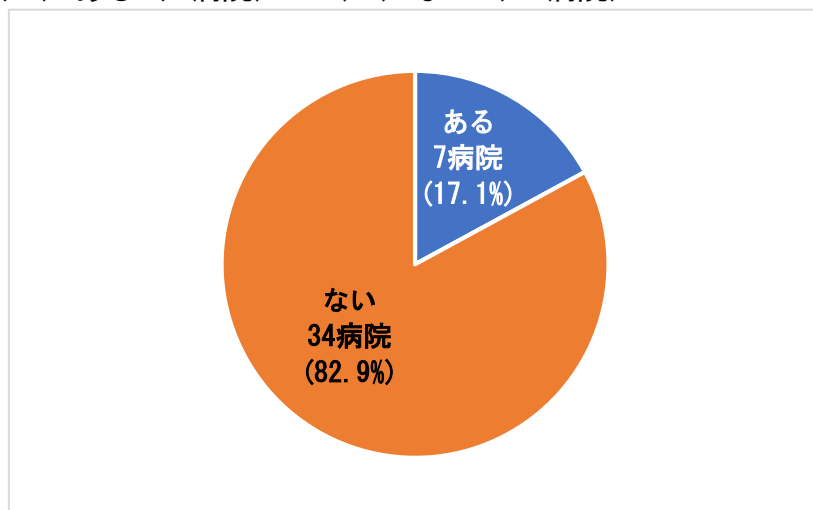
- （１）当直免除（２０病院） （２）日直免除（１２病院） （３）時間外勤務免除（１９病院）
 （４）その他（１０病院） （５）なし（６病院）

↳（要相談・個別対応、診療科ごとの対応、契約内容による、管理職以外の職員）



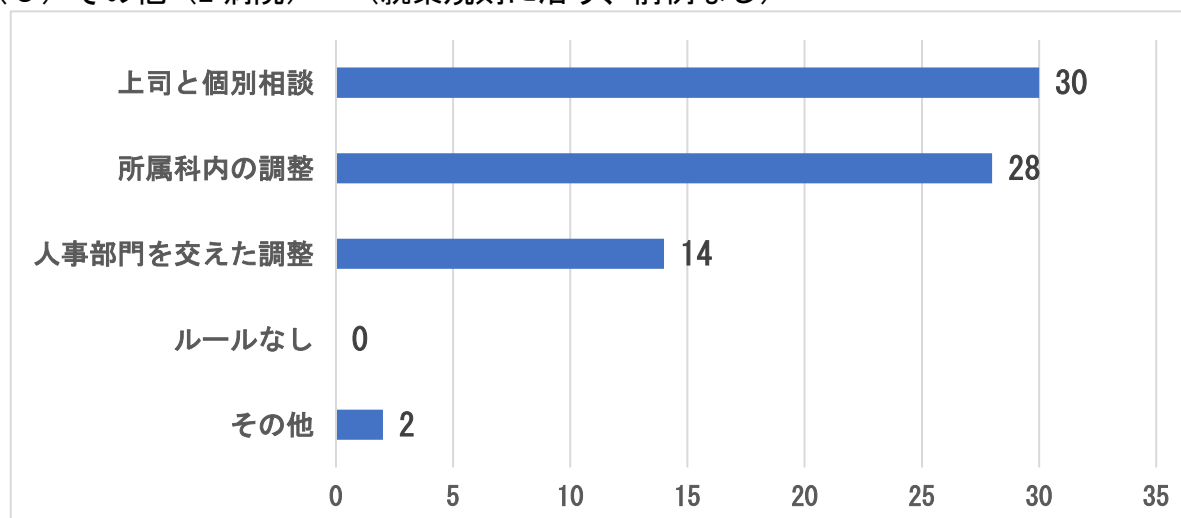
2－5 育児休業明けの支援制度（研修、リハビリ勤務など）はありますか。（N=41）

（１）ある（７病院） （２）ない（３４病院）



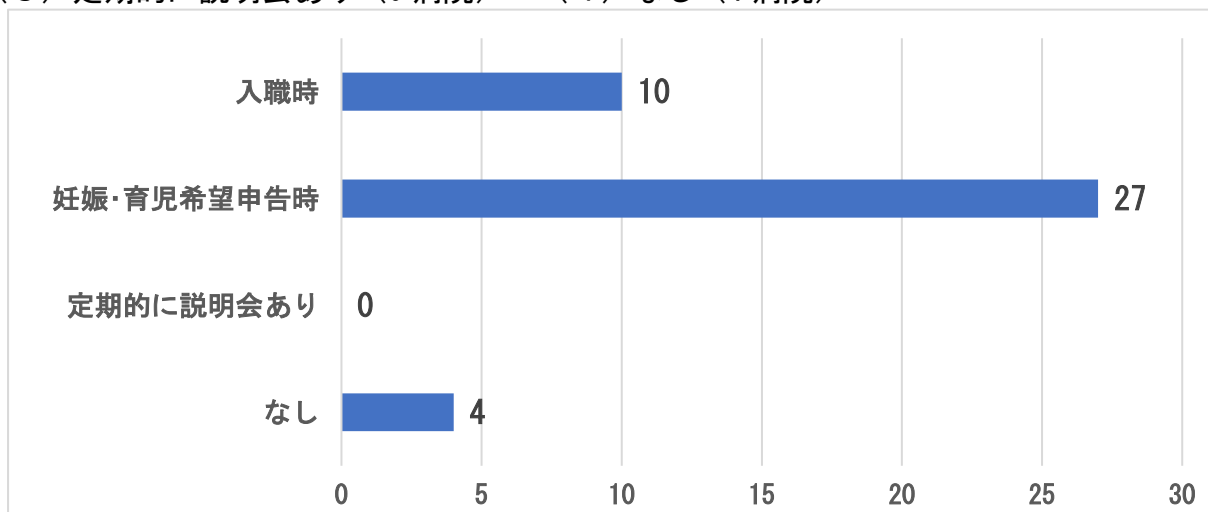
2－6 勤務時間の調整はどのように決定されていますか（複数回答可）。

（１）上司と個別相談（３０病院） （２）所属科内の調整（２８病院）
 （３）人事部門を交えた調整（１４病院） （４）ルールなし（０病院）
 （５）その他（２病院）→（就業規則に沿う、前例なし）



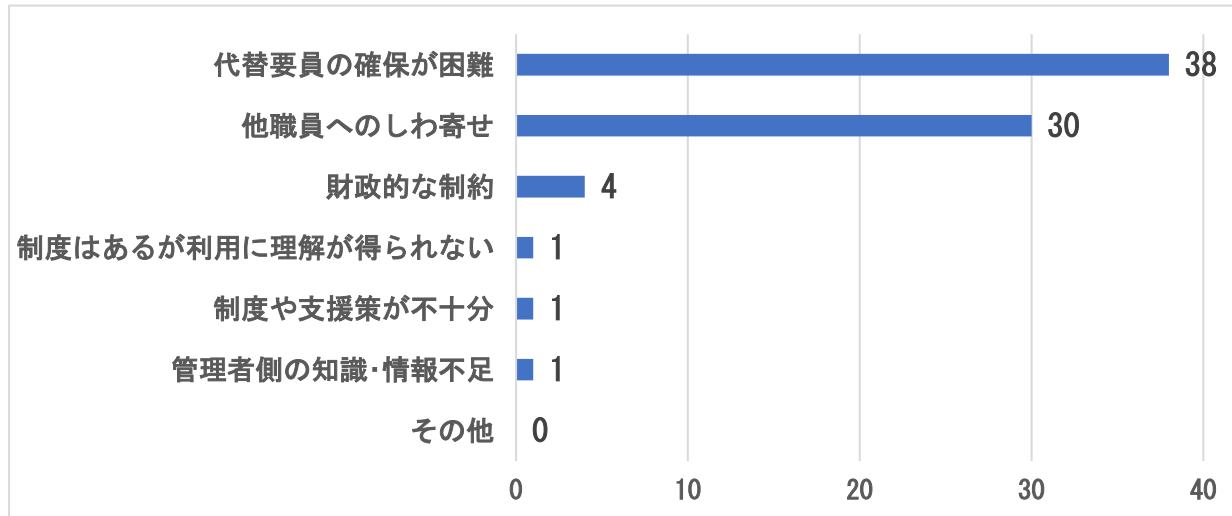
2－7 各種制度についての周知・説明の機会がありますか（N=41）

（１）入職時（１０病院） （２）妊娠・育児希望申告時（２７病院）
 （３）定期的に説明会あり（０病院） （４）なし（４病院）



2-8 育児中の医師に対する支援・勤務配慮を行う上での課題は何ですか（複数回答可）

- (1) 代替要員の確保が困難 (38 病院) (2) 他職員へのしわ寄せ (30 病院)
(3) 財政的な制約 (8 病院) (4) 制度はあるが利用に理解が得られない (1 病院)
(5) 制度や支援策が不十分 (1 病院) (6) 管理者側の知識・情報不足 (1 病院)
(7) その他 (0 病院)



《質問3》 育児中の医師に対する全体的な取組みについてお伺いします

3-1 貴院独自の育児支援・キャリア支援があればご記入ください

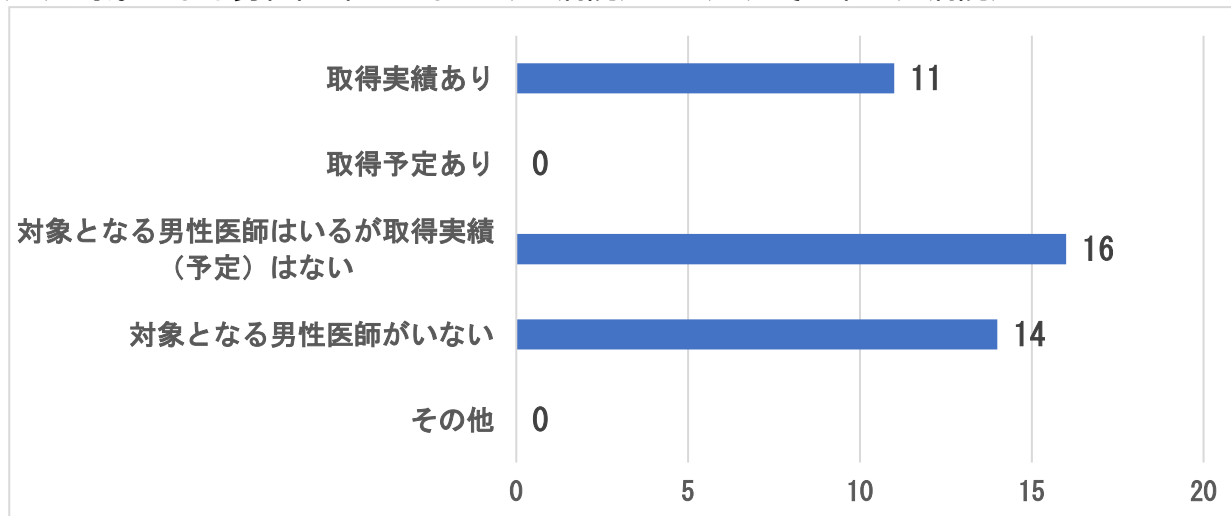
- ・相談窓口の設置、相談できる体制あり
- ・保育料の補助
- ・育児短時間勤務を小学校3学年終了まで実施
- ・仕事と育児の両立に関する個別の意向聴取と配慮規定あり
- ・県の制度に則った休暇等制度

3-2 現在の制度における「改善点」や「不足している」と感じる支援内容がありますか

- ・制度はあっても、医師不足により医師の育休取得は厳しい。
- ・小規模病院については制度があり利用できるとしても、県立病院や大学病院から代診等を行う医師の派遣制度等の充実を図っていかないと利用が進まない状況がある。
併せて大きな病院にも言えることだと思うが、施設基準の緩和等もセットで考えていかないと利用が進まないのではないかと考える。

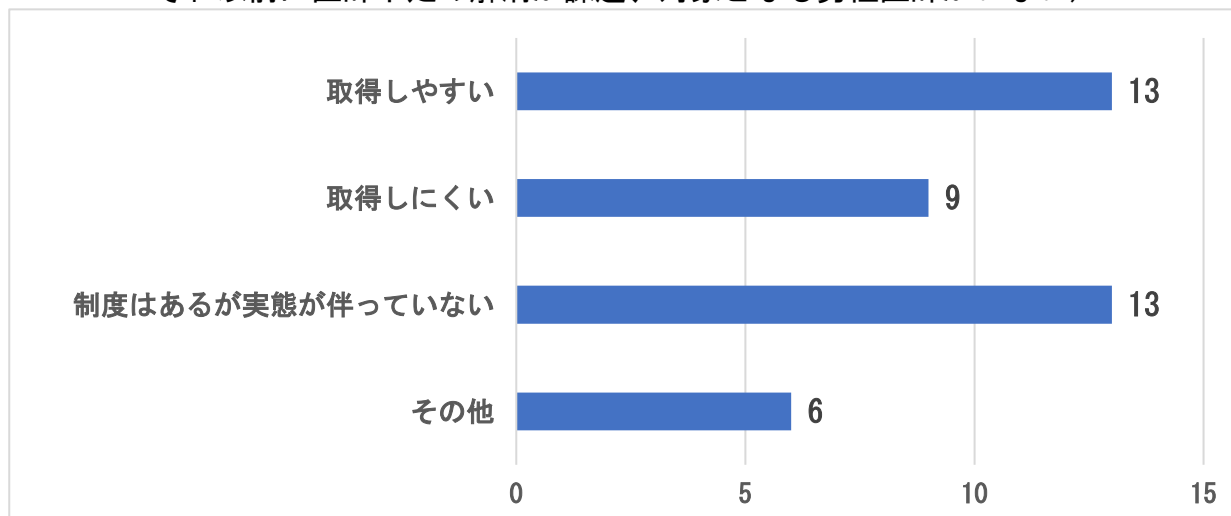
3-3 男性医師の育児休業の取得実績はありますか (N=41)

- (1) 取得実績あり (11 病院) (2) 取得予定あり (0 病院)
(3) 対象となる男性医師はいるが取得実績 (予定) はない (16 病院)
(4) 対象となる男性医師がいない (14 病院) (5) その他 (0 病院)



3-4 男性医師の育児休業取得の推進について貴院の現状をどう思いますか (N=41)

- (1) 取得しやすい (13 病院) (2) 取得しにくい (9 病院)
(3) 制度はあるが実態が伴っていない (13 病院)
(4) その他 (6 病院)
↳ (制度はあるが診療体制の事情等から取得実績はない、希望があれば対応可能、それ以前に医師不足の解消が課題、対象となる男性医師がいない)



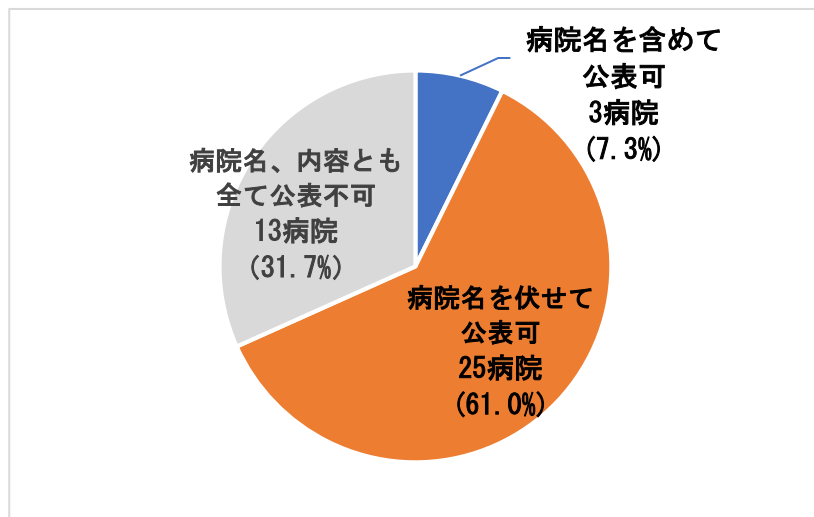
3-5 今後取組みたい内容や課題として感じていることをご記入ください。

- ・ 現在、検討中。
- ・ 医師の確保が困難であり、人員が不足している。
- ・ 事例発生時の代替要員の確保が課題。
- ・ 人材不足により代替要員がいない。特に医師、看護師、技師の確保が困難。
- ・ 育休中の代替要員の確保が難しい。
- ・ 絶対に医師が不足している。

《質問4》 回答内容の公開についてお伺いします (N=41)

本アンケートの内容は、分析結果として報告書やホームページ等で公開することがあります。
病院名の扱いについてお選びください。

- (1) 病院名を含めて公表可 (3 病院) (2) 病院名を伏せて公表可 (25 病院)
(3) 病院名、内容とも全て公表不可 (13 病院)



○考察

本調査の結果から、山形県内の病院における育児中の医師への支援体制には一定の進展が見られる一方、いくつかの課題が浮き彫りとなった。

まず、院内保育施設の設置状況については、約半数の病院に整備されているものの、将来的な設置予定が「なし」と回答した病院が大多数であり、地域全体での利用環境整備には限界があることが示唆された。代替策として提携保育園を活用している事例もあるが、利用しやすさや柔軟性には課題が残る。

また、勤務支援制度に関しては、多くの病院が育児休業や短時間勤務制度を導入しているが、利用可能年齢や運用の柔軟性には差が見られる。特に「代替要員の確保が困難」という回答が大多数を占めており、医師不足の構造的問題が制度の実効性を制限していることが明らかである。

さらに、男性医師の育児休業取得については、制度は整備されているものの実績は少なく、診療体制や人員不足が障壁となっている実態が浮かび上がった。ジェンダーにかかわらず育児を担える職場環境づくりには、制度面だけでなく文化面での変化が求められる。

○提言・今後の方向性

（１）代替要員確保のための広域連携の強化

小規模病院や人員不足が顕著な地域においては、県立病院や大学病院からの医師派遣制度の拡充、あるいは地域医療ネットワークを活用した広域的な人材支援が必要である。

（２）柔軟な勤務制度の普及

短時間勤務・時差出勤・在宅診療支援などをさらに制度化し、医師本人のライフステージに応じて柔軟に働ける仕組みを整備することが求められる。

（３）院内外保育サービスの充実

院内保育所の設置が難しい病院においては、近隣保育施設との提携や費用補助制度を導入し、実質的な利用環境の向上を図るべきである。特に病児・病後児保育の拡充は喫緊の課題である。

（４）男性医師の育休取得推進

制度の存在だけでなく、職場全体の理解促進やモデルケースの提示により、取得しやすい雰囲気醸成する必要がある。これにより男女ともに育児とキャリアの両立が可能となる。

（５）制度の周知と利用促進

制度が存在していても利用されにくい実態を踏まえ、入職時や妊娠・出産時に限らず、定期的な情報提供や相談機会を設けることが重要である。